

# 令和7年度福岡教育大学 教職大学院研究報告会

【2年生：修了報告会 1年生：中間報告会】

## 第二次案内

主催：福岡教育大学

後援：福岡県教育委員会・福岡市教育委員会・北九州市教育委員会

日程

令和8年2月18日(水) 8:40~16:35

教育実践力開発コース(学部卒等院生)報告会

特別支援教育向上コース(学部卒等院生)報告会

8:20	8:40	8:50	11:55	13:00	16:25	
受付	開会行事	移動	中間報告会 (最高学年以外)	休憩	修了報告会 (最高学年)	閉会行事

令和8年2月19日(木) 13:10~16:50

スクールリーダーシップ開発コース(現職教員院生)報告会

特別支援教育向上コース(現職教員院生)報告会

12:50	13:10	13:40	14:45	14:55	16:25	
受付	開会行事	移動	中間報告会 (最高学年以外)	休憩	修了報告会 (最高学年)	閉会行事

会場

福岡教育大学共通講義棟 ※19日のみオンライン配信もします。

参加申込：ホームページ及び以下、二次元コードよりお申し込みください。

(お申し込み期限：1月30日(金))

【お問い合わせ先】

福岡教育大学大学院室

〒811-4192 福岡県宗像市赤間文教町1-1

TEL:0940-72-6012/FAX:0940-35-1746

E-mail grdsptch@fukuoka-edu.ac.jp

【参加申込はこちら】

【学部卒等院生】

【現職教員院生】



令和7年度 後期研究報告会 学部卒等院生グループ分け

グループ	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
場所	特 I	特 II	108	109	110	111	208	209	210	211
8:50～9:30	向本 翔馬	甲斐 翔大	末吉 紘志	西 亜孟	秋山 未来	永野 歩路	野田 大輔	三宅 真優	重岡 千真	石本 昇平
9:35～10:15	石田 匠	松本 昂	大楠 孝礼	中島 優希	兼重 彩世	石川 大雅	井上 咲	立野 沙和	山崎 由莉	高旗 弥充
休憩										
10:30～11:10	小城 愛未	武藤 将真	山根 健太郎	阿比留 陸	松口 拓来	眞榮喜 大和	吉原 怜生	松尾 朱里	梶原 佑心	工藤 風香
11:15～11:55 M2 (11:15～12:00)			伊藤 大暁		岡本 龍汰	森元 応	金子 響	今尾 佳音	日下部 莉野	
昼休み										
13:00～13:45	小川 真樹	小池 翔太郎	高倉 紀乃	太田 高弘	北村 優佳	山下 空樂	伊藤 匡功	嶋田 大地	部坂 虹歩	吉末 拓斗
13:50～14:35	鎌田 ほのか	西田 朋生	山本 普貴	廣重 諒	時廣 野々花	俵 雄大	大和田 千尋	江口 浩文	松尾 瑠花	澁谷 果穂
休憩										
14:50～15:35	久保田 美里			松尾 永遠			齋田 光生	壇 由真	田中 愛理	大場 彩香
15:40～16:25				高下 来未			荒牧 克明		富田 奈那	新開 友香

# 目次

令和8年2月18日(水)

## グループA (共通講義棟 特I教室)

時間	氏名	学年	主題・副主題
8:50~ 9:30	向本 翔馬	M1	高等学校国語科におけるクリティカルリーディングの研究 —根拠に基づく推理を通じた考えの形成—
9:35~ 10:15	石田 匠	M1	オーセンティックの考え方を手がかりとした小学校算数科における授業改善 —第4学年面積学習「陣取りゲーム」を事例として—
10:30~ 11:10	小城 愛未	M1	生徒の主体性を育む高等学校化学の実践研究 —中学校理科との系統性を踏まえた授業づくりを通して—
11:15~ 11:55			
13:00~ 13:45	小川 真樹	M2	数学的理解を深める算数科学習指導 —数学的な見方・考え方を働かせる言語活動を通して—
13:50~ 14:35	鎌田 ほのか	M2	社会的レリバンスを構築するための社会科の授業構成 —学習内容と現代社会のかかわりを促す社会的事象の提示を通して—
14:50~ 15:35	久保田 美里	M2	概念的知識の習得を目的とした社会科学習指導 —歴史解釈活動に協調学習を取り入れて—
15:40~ 16:25			

## グループB (共通講義棟 特II教室)

時間	氏名	学年	主題・副主題
8:50~ 9:30	甲斐 翔大	M1	高等学校地理学習における地図に関する地理的技能の育成 —GISの活用を促す手立てを通して—
9:35~ 10:15	松本 昂	M1	批判的思考力向上を目指す中学校理科の実践研究 —教科横断型の授業づくりを通して—
10:30~ 11:10	武藤 将真	M1	高等学校歴史科目における主体的に課題を解決する力を育成する実践的研究 —批判的合理主義に基づく対話の手法を取り入れて—
11:15~ 11:55			
13:00~ 13:45	小池 翔太郎	M2	生成AIを活用した個別化準備運動プログラムの開発支援 —マット運動の競技特性に合わせた準備運動の検討と効果検証—
13:50~ 14:35	西田 朋生	M2	学習意欲を向上させる高等学校体育の授業づくり —バドミントンにおける戦術的気づきを活用した授業実践—
14:50~ 15:35			
15:40~ 16:25			

グループC (共通講義棟 108教室)

時間	氏名	学年	主題・副主題
8:50~ 9:30	末吉 紘志	M1	作文評価の研究 —児童作文への評語例の分析を通して—
9:35~ 10:15	大楠 孝礼	M1	高等学校歴史科目における規範的知識の獲得を目指す実践研究 —歴史解釈活動に類推を取り入れて—
10:30~ 11:10	山根 健太郎	M1	高等学校公民科(公共)における主体的に社会と関わり続ける力の育成 —自己決定理論に基づくブレインストーミングを活用した探究活動を通して—
11:15~ 11:55	伊藤 大暁	M1	小学校の学級単位で行うピア・サポートの試行 —傾聴スキル学習を端緒とする学校適応感の促進—
13:00~ 13:45	高倉 紀乃	M2	国語科の語彙指導における「テスト効果」の活用 —小学校特別支援学級における反復検索を用いた学習支援の試み—
13:50~ 14:35	山本 普貴	M2	小学校における統計教育に関する実践的研究 —第5学年社会科「我が国の工業生産」を題材として—
14:50~ 15:35			
15:40~ 16:25			

グループD (共通講義棟 109教室)

時間	氏名	学年	主題・副主題
8:50~ 9:30	西 亜孟	M1	GIGAスクール構想に基づく小学校体育科でのICT機器活用の有効性と新たな授業提案に関する研究
9:35~ 10:15	中島 優希	M1	中学校国語科における書くことの指導法の提案
10:30~ 11:10	阿比留 陸	M1	中学校社会科における批判的思考力育成に関する方略 —二項対立場面を取り入れた授業実践を通して—
11:15~ 11:55			
13:00~ 13:45	太田 高弘	M2	Learner Authenticityを軸にした外国語科の授業実践 —日米の学校文化の違いに着目して—
13:50~ 14:35	廣重 諒	M2	高等学校英語科における思考の深まりに関する授業実践 —CLIL的手法を通して—
14:50~ 15:35	松尾 永遠	M2	異文化理解を促す小学校外国語活動の授業実践 —児童の異文化への興味・関心の芽生えを目指して—
15:40~ 16:25	高下 来未	M2	中学英語指導における生成AIの活用 —生徒の自発的な学習を支援する方法の探求—

グループE (共通講義棟 110教室)

時間	氏名	学年	主題・副主題
8:50~ 9:30	秋山 未来	M1	中学校社会科における当事者性の育成を目指した実践的研究 —問題解決学習を通して—
9:35~ 10:15	兼重 彩世	M1	小学校道徳科の生命尊重における授業研究 ~自分事として向き合うことに焦点を当てて~
10:30~ 11:10	松口 拓来	M1	公立中学校におけるCLIL実践の効果検証 —言語面と内容面両方に着目して—
11:15~ 11:55	岡本 龍汰	M1	中学校体育における「体育嫌い」な生徒に着目した授業実践 —アルティメットの競技特性を活かして—
13:00~ 13:45	北村 優佳	M2	生徒の主体性を伸長する授業づくり —自己調整学習を取り入れた学習過程の工夫を通して—
13:50~ 14:35	時廣 野々花	M2	他者との多様な関わりを支える対話力の育成 —高等学校国語科での学習を通して—
14:50~ 15:35			
15:40~ 16:25			

グループF (共通講義棟 111教室)

時間	氏名	学年	主題・副主題
8:50~ 9:30	永野 歩路	M1	中学校数学科図形領域における教材開発 —円周角の定理を題材として—
9:35~ 10:15	石川 大雅	M1	高等学校国語科における話し合い活動の指導 —多角的な思考を育むことを意識して—
10:30~ 11:10	眞榮喜 大和	M1	そろばん操作による数概念の理解と数感覚の育成に関する研究
11:15~ 11:55	森元 応	MS2	小学校理科における新出科学用語揭示が児童の学習の見通しに与える効果
13:00~ 13:45	山下 空樂	M2	社会的事象に対し、考察・構想する社会科学習指導 — 一次、二次の問いに係る手立てを通して —
13:50~ 14:35	俵 雄大	M2	高等学校地理探究における主体的課題解決を促す授業設計に関する研究 — 学びのユニバーサルデザイン (Universal Design for Learning: UDL) を活用した授業分析・実践と主体的学習態度尺度の作成 —
14:50~ 15:35			
15:40~ 16:25			

グループG (共通講義棟 208教室)

時間	氏名	学年	主題・副主題
8:50~ 9:30	野田 大輔	M1	「ゲーム論」を位置づけた小学校体育科授業実践に関する質的研究
9:35~ 10:15	井上 咲	M1	高等学校における学習の個性化を促す体育授業に関する研究
10:30~ 11:10	吉原 怜生	M1	自律的動機づけを高める中学校社会科教育実践 —質的アプローチを通して—
11:15~ 12:00	金子 響	M2	高校生のエンゲージメント向上を目指したメタ認知的方略支援 —生成AIを用いた支援ツールの開発—
13:00~ 13:45	伊藤 匡功	M2	高等学校物理における深い学びを促す授業づくり —素朴概念に焦点化した発問の工夫を通して—
13:50~ 14:35	大和田 千尋	M2	生徒の主体的な学びを促進する高等学校生物の授業づくり —質問づくりを通して—
14:50~ 15:35	齋田 光生	M2	帰納的・演繹的推論を促す高等学校物理の実践的研究 —科学史(HOS)の間接的追体験を組み込んだ探究活動を通して—
15:40~ 16:25	荒牧 克明	MS3	保幼小の接続を重視した低学年算数科の授業づくり —児童の「サビタイジング」に着目して—

グループH (共通講義棟 209教室)

時間	氏名	学年	主題・副主題
8:50~ 9:30	三宅 真優	M1	応用行動分析学に基づく人間関係の形成・コミュニケーションを主とした自立活動指導の検討 —情緒障害特別支援学級における指導の実践から—
9:35~ 10:15	立野 沙和	M1	小学生を対象とした「構成的グループ・エンカウンター」に関する研究 —朝の会、学級活動におけるクラス単位での実践—
10:30~ 11:10	松尾 朱里	M1	聴覚障害のある児童生徒を豊かな言語活動へとつなぐ国語科授業 —多感覚知覚による理解と長所を活かす表現の支援を通して—
11:15~ 11:55	今尾 佳音	M1	音楽科鑑賞授業における音楽的思考に関する実践研究 —子ども主体の反省に着目して—
13:00~ 13:45	嶋田 大地	M2	心理的安全性を高める体育科学習指導 : バドミントンの授業における仕掛けの工夫
13:50~ 14:35	江口 浩文	M2	自己理解に基づく進路選択ができる生徒の育成 —ホームルーム活動(3)とキャリアカウンセリングの充実を通して—
14:50~ 15:35	壇 由真	M2	自らの力で学級をよりよくしていこうとする子どもの育成 —高学年児童における学級活動(1)の実践を通して—
15:40~ 16:25			

グループI (共通講義棟 210教室)

時間	氏名	学年	主題・副主題
8:50~ 9:30	重岡 千真	M1	CPLが成立する教師文化の構築 —TeachingとCoachingの融合を志向した授業実践と教育実践者の語りの分析—
9:35~ 10:15	山崎 由莉	M1	自ら社会的課題を追究・解決する力を育む社会科授業実践 —関係整理の可視化による論理的思考の支援を通して—
10:30~ 11:10	梶原 佑心	M1	〈共動詩〉試論 — 小学校「短歌」におけるLouise M. Rosenblattの“transaction”の視点 —
11:15~ 12:00	日下部 莉野	M2	教科指導を通じた中学生のソーシャルスキルの育成 —社会科に置けるグループ活動を通して—
13:00~ 13:45	部坂 虹歩	M2	作文指導における書くこと領域の文章構成に関する効果的な指導方法の検討
13:50~ 14:35	松尾 瑠花	M2	児童の読みを深める国語科指導 —文章と経験をつなぐ学習活動を通して—
14:50~ 15:35	田中 愛理	M2	小学校特別活動における児童の居場所づくり —学級活動(1)イ 係活動を通して—
15:40~ 16:25	富田 奈那	M2	自律的な意見を持つことができる道徳授業の実践に関する研究 —自律的な意見を促す授業内の有効な手立てと児童の反応に着目して—

グループJ (211教室)

時間	氏名	学年	主題・副主題
8:50~ 9:30	石本 昇平	M1	高等学校「公共」における生徒の「政治的な思考力」を育成する実践的研究 —リバトルにおける「留保条件」の活用に焦点を置いて—
9:35~ 10:15	高旗 弥充	M1	ゲーミフィケーション理論を用いた好奇心を刺激させる授業実践の検討 ~Kahootを使った授業実践を通じて~
10:30~ 11:10	工藤 風香	MS2	主体的な実践にもとづくよりよい人間関係の形成 ~学級活動(2)の授業実践と休み時間の活動を通して~
11:15~ 11:55			
13:00~ 13:45	吉末 拓斗	M2	中学校理科における探究の充実に向けたパフォーマンス課題を活用した授業づくり —MI理論を活用したグルーピングを取り入れて—
13:50~ 14:35	澁谷 果穂	M2	生徒が自己の考えを深めていく社会科の授業づくり —「学び合い」に焦点をあてて—
14:50~ 15:35	大場 彩香	M2	自己の考えを深める道徳科の授業づくり —p4cの手法を用いて—
15:40~ 16:25	新開 友香	M2	高等学校国語科古典分野における学び合いによる授業づくり —SELの視点を取り入れた実践を通して—



# 目次

令和8年2月19日(木)

## グループA(共通講義棟 特I教室)

時間	氏名	地区名	主題・副主題
13:40～ 14:10	山川 真紀子	福岡地区	中学生の不登校予防のためのSEL-8S学習プログラムの実践的研究 —教科指導等における社会的能力の般化に向けた取組を通して—
14:15～ 14:45	長谷 純一	福岡地区	授業改善の日常化を図る校内研修の在り方 —協働の学びから個の学びへの段階的移行を通して—
14:55～ 15:35	高橋 智子	福岡地区	特別な教育的支援を必要とする児童を支える協働体制の整備 —学年チーム編成の工夫と支援サイクルの実践的検討を通して—
15:40～ 16:20	三橋 恵	福岡地区	カリキュラム・マネジメントに関する研究 —小規模校(島の小学校)における地域連携・協働カリキュラムの PDCA を通して—

## グループB(共通講義棟 特II教室)

時間	氏名	地区名	主題・副主題
13:40～ 14:10	辻 知恵	福岡地区	学年の協働性を深める組織運営に関する研究 —学年研修会と連携する学年主任研修会の仕組みを通して—
14:15～ 14:45	内野 陽子	福岡地区	児童の基本的自尊感情とレジリエンスを育む予防的心理教育 —小学校におけるSOSの出し方に関する教育の推進を通して—
14:55～ 15:35	大道 和美	福岡地区	中学校におけるインクルーシブ教育の推進に関する実践研究 —合理的配慮の提供とUDLの視点に基づく授業実践を通して—
15:40～ 16:20	村岡 千穂	福岡地区	自己理解に基づいた感情コントロール力を高める指導 —中学年児童に対する心理教育的アプローチと学習環境の整備を通して—

## グループC(共通講義棟 108教室)

時間	氏名	地区名	主題・副主題
13:40～ 14:10	野村 知紘	福岡	通常の学級で支援を必要とする児童の算数科文章問題を読み解く力の向上への取り組み —COGENTプログラムを通して—
14:15～ 14:45			
14:55～ 15:35	沖田 育子	北九州	児童の学校適応感を高める支援体制の整備 —課題早期発見対応のためのアセスメントツールの開発を通して—
15:40～ 16:20	木村 直美	京築	不登校兆候の早期発見・早期対応を促すチーム援助システムの整備 —教員集団と若年層教員の変容に着目して—

グループD(共通講義棟 109教室)

時間	氏名	地区名	主題・副主題
13:40～ 14:10	辻 悠太郎	北筑後	自己理解に基づいた意思表示を促す自立活動の指導の実践 —中学校特別支援学級における合理的配慮の適切な提供を目指して—
14:15～ 14:45	廣木 沙耶香	北筑後	公立小学校における応用行動分析学の実践的検討 —機能的アセスメントに基づく一貫性のある支援を目指して—
14:55～ 15:35	古賀 健介	北筑後	学力向上に向かう中学校における協働体制構築の研究 —授業改善4部会を中心としたマネジメントを通して—
15:40～ 16:20	山上 真弓	筑豊	特別支援学級における個に応じた自立活動の指導の充実 —自立活動の個別の指導計画作成に向けた支援を通して—

グループE(共通講義棟 110教室)

時間	氏名	地区名	主題・副主題
13:40～ 14:10	津村 征弥	南筑後	児童の社会性を高める異年齢集団活動に関する研究 —Kolbの経験学習モデルを用いた振り返り活動を通して—
14:15～ 14:45	吉田 美香	福岡市	小学校キャリア教育推進に関する研究 —カリキュラム・マネジメントのシステム化を通して—
14:55～ 15:35	榮 翔一郎	福岡市	学年主任の学年経営力を高める研究 — 学年の重点課題解決のマネジメントを通して —
15:40～ 16:20	脇本 雅史	福岡市	教員のワークエンゲイジメントに関する研究 —「仕事の資源」に着目した校内研修を通して—

グループF共通講義棟 111教室

時間	氏名	地区名	主題・副主題
13:40～ 14:10	安田 文也	北九州市	教師の主体性を高める校内研修の在り方 —自己カルテを活用した個と集団の学びを通して—
14:15～ 14:45			
14:55～ 15:35	近藤 嵩晃	北九州市	小学校学年チームにおけるチームレジリエンスに関する研究 —チームレジリエンス行動を促す方策に着目して—
15:40～ 16:20	堀尾 亜以	北九州市	児童のキャリア発達を高める教員の指導力向上 —学級活動(3)の授業づくりと教員コンサルテーションを通して—

グループG 共通講義棟 208教室

時間	氏名	地区名	主題・副主題
13:40～ 14:10			
14:15～ 14:45	林 優大	県特支	知的障害特別支援学校におけるICTを活用した働き方改革に関する研究 — AIを活用した学習記録の分析による仮評価・指導計画作成を通して —
14:55～ 15:35	田口 藍	県特支	知的特別支援学校における行動障害のある児童生徒の行動変容を目指した支援 — 応用行動分析学の実践を通して —
15:40～ 16:20	奥 隆司	県特支	重度・重複障害児教育におけるアセスメントツールの汎用性の向上 — 福山特別支援学校指導ツールの活用と短縮版の開発を通して —

グループH 共通講義棟 209教室

時間	氏名	地区名	主題・副主題
13:40～ 14:10			
14:10～ 14:50	佐々木 修一郎	高等学校	同僚性を向上する組織マネジメントの在り方 — コミュニケーションを主軸としたミドル・アップダウン・マネジメントの実践を通して —
14:55～ 15:35	近藤 雅典	高等学校	「生物基礎」における再現性を高めた観察・実験パッケージの開発 — 探究の過程を踏まえたワークシートと指導の手引きの作成を通して —
15:40～ 16:20			